

# 金浦瓦版

発行日 2019. 9. 2

編集・発行 金浦区自治会

平成26年より毎年実施されている朝来市一斉避難訓練（集中豪雨想定）が9月1日に行われました。当日の午前8時10分頃、市より避難準備（レベル3）の一斉放送が流れました。公民館に8時40分までに参加者全員が避難終了しました。要援護者の方も数名参加され、事前打ち合わせに従ったスムーズな避難ができました。



参加者数 27名（男性16・女性11）

避難所帯数 18 / 34

8:50～隣保長による訓練参加者の点呼・確認後、区長にその旨を報告

9:00～CATV放送「防災番組」の視聴

**自助**→家具の固定、寝室・子供部屋に家具を置かない、非常袋の常備【懐中電灯・ホイッスル・非常食（一人1日30の飲料水3日分・食料5食分を準備）、ハザードマップで危険個所の確認、住宅の耐震化】

**共助**→普段から災害避難訓練に参加、普段から近所付き合いでつながり・声かけを大切に（共助があれば安心感が増す）

**「正常化の偏見」とは、リスク（危険性）を過小評価して「自分だけは大丈夫」と思い込んでいること。**

「レベル3」で、金浦区公民館を避難所として開設、役員等の待機。毛布や食料の備蓄。土のう、防災道具（スコップ・つるはし・かけや等）の常備。

## 9:30～ 消火器の扱い方&消火栓の操作法

避難訓練の参加者を対象に消火器・消火栓の操作方法について実習しました。区の消防団員から指導を受けました。



消火器を火元に移動→安全ピンを抜く→ホースで火点を狙いを定めてからレバーを握る

消火栓にホースをつなぎ、ホースに筒先をつなぐ→バルブで消火栓をゆるめる→放水する（複数名で、役割分担は臨機応変に）

